



宮田嵩士《untitled(Nemrut Dag)》油彩、綿布、2011



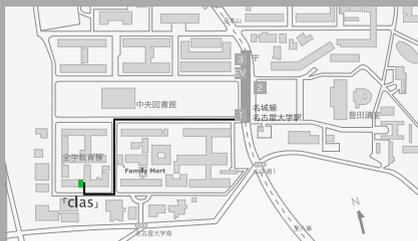
長尾浩幸《Oyoguhito-2》油性木版、シルクスクリーン、紙、2010

Appreciation2

2012.7.11 wed - 7.20 fri

10:00-18:00 (土日祝はお休み、最終日は17:00まで)

ギャラリートーク : 7.13 fri 17:00~



名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

<http://www.vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp/clas/>

<https://www.facebook.com/nu.gallery.clas>

〒464-8601 名古屋市中種区不老町

アクセス/地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車1番出口より西へ5分、

全学教育棟南入口横

主催：メディア&デザイングループ / 共催：名古屋大学教養教育院

長尾浩幸さんと宮田嵩士さんの二人展を開催します。

長尾さんは、80年代より、絵画と写真、映像といったメディアを横断しながら、生活の様々な場面をモチーフに作品を発表しています。

宮田さんは、旅をテーマに、絵画のマチエールに関心をもちつつ、作品を制作してきました。

昨年10月の「Appreciation」に引き続き、今回も観客が鑑賞する際の行為を測定します。そこで得られたデータとアンケート、インタビューを分析し、鑑賞サポートについて考察しようというものです。

ご来場お待ちしております。

長尾浩幸

1960年大阪市生まれ。京都市立芸術大学大学院絵画専攻修士課程修了。成安造形大学准教授。

宮田嵩士

1988年大阪市生まれ。成安造形大学造形学部造形美術科研究生を修了。名古屋大学大学院情報科学研究科在籍。

同時開催

SOUND SPACE “12人の学生が造る音空間”

空間をイメージして作られた音作品の展示

会場：南部食堂 2F~3ai~北側スペース

期間：7.17[火]-7.23[月](土日はお休み)(予定)

音楽芸術論(全学教養科目)の受講生12人が、南部食堂の空間をイメージしてつくった作品を環境音楽として流します。

